春季特別展「江戸の技―細密工芸の世界―」

4月27日より公開しております本展示会の展示品の中から、今回は印籠・根付についてご紹介します。

印籠とは？印籠といって思いだされるのは、テレビ「水戸黄門」のクライマックスの場面で「この紋所が目に入らぬか」といって「格さん」が懐から取り出す葵の紋所入りのものではないでしょうか？

印籠は、本来、携帯の薬入れです。江戸時代、武士は帯の左側に刀を差し、右側に印籠を下げました。「東下り図高彫嵌装鞘印籠」は、水戸徳川家お抱え金工師荻野勝房が、多摩川を渡る在原業平の一行を描いた作品です。金と銀の二種類の内身があり、これを入れ換えることで雲間の色が変わり、金で昼を、銀で夜を表現しています。

印籠や煙草入れなどの持ち物を着物の帯に吊り下げるために、紐の先端につける留具が根付です。今回展示している根付の一つ「近江八景」は、手の中に入る大きさに近江八景を表すという空前の技を見せています。近江八景とは琵琶湖周辺の景勝の地を、中国の瀟湘(しょうしょう)八景にならって選んだもので、この作品では、裏表に瀬田夕照・三井晩鐘・辛(唐)崎夜雨・石山秋月・堅田落雁の五景、底に粟津晴嵐・比良暮雪・矢橋帰帆の三景が彫られています。

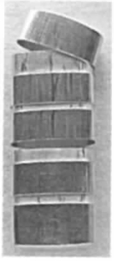
これら細密工芸の名品を味わい、現代さかんに求められている、効率や経済性から一時はなれて、製作に費やされた無限の手間と時間に想いを馳せていただければ幸いです。

会　期	6月23日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	6月3・10・17・18日
観覧料金	一　般　600円(420円) 高校・大学生　400円(280円) 小・中学生　200円(140円)

( )内は20名以上の団体料金です。

「近江八景」　影利　作

「東下り図
高彫嵌装鞘印籠」
荻野勝房　作



印籠の金の内身

次回企画展のお知らせ

夏休み子ども企画

「サンリオ　キャラクターミュージアムⅡ」

子どもから大人まで人気のあるハローキティが、今年の夏も博物館にやってきます！

今回は展示を見るだけでなく、体験スポットで遊びながら、楽しく学べる内容になっています。ぜひ親子でご来館いただき、夏休みの思い出作りをしてください。

© '76,'02 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL NO.P1605201

会　期　7月3日(水)～8月25日(日)

ミュージアム都留「チャレンジランキング」

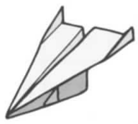
きみはどこまでできるかな？挑戦してみよう！

6月のテーマ　「続・紙飛行機にチャレンジ！」

日　時　毎週土・日曜日　午前9時～午後4時30分

会　場　「ミュージアム都留」エントランスホール

※事前の申し込みは不要です。



お知らせ

☆6月から、市内の小中学生に限り、毎月第一土・日曜日は観覧料が無料になります。

☆館内燻蒸のため、6月24日(月)～7月2日(火)は休館します。

ミュージアム寺子屋講座受講者募集

○郷土史講座

内　容　「郷土に輝く人々」
日　時　6月～10月の第4日曜日　午前10時～11時30分
場　所　ミュージアム都留　研修室
※第一回講座　6月23日(日)　「鳴山草平―郷土の文人」
講　師　棚本安男

○古文書を読む

日　時　6月～10月の第3日曜日　午前10時～11時30分
内　容　「古文書でみる茶壷道中」
講　師　内藤恭義
※第一回講座　6月16日(日)

○村絵図を歩く

日　時　8月～12月の第2日曜日　午前10時～正午
内　容　今年度開催予定の企画展「ふるさとの寺展」にむけて、市内各寺院を訪問し、調査・探求します。
※第一回講座　8月11日(日)

○芭蕉月待講座

日　時　7月～10月の第4火曜日　午後6時30分～7時30分
内　容　「早川石牙・漫々～親子二代の俳諧」
講　師　楠元六男(都留文科大学教授)
※第一回講座　7月23日(火)